

第4回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、9月2日、午後1時から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第39号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

感染症予防事業費等国庫補助金返還金について、女性特有のがん検診受診者数が当初の見込みよりどれだけ少なかったのか。とに対し、

本年2月に補助金の交付申請を行った時点では、3月末までの受診人数を、子宮がん検診は1,210人、乳がん検診は1,193人と見込んでいました。実績としては、子宮がん検診1,075人、乳がん検診は1,062人と、合計266人分少なかったため返還金が生じたものです。とのこと。

地域支え合い体制づくり事業について、誰を対象として、何を行うのか。とに対し、認知症の高齢者を介護している家族介護者や軽度の認知症高齢者を対象とし、地域で支え、認知症高齢者が安心して暮らせる体制づくりを目指す事業です。とのこと。

また、この介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用して、当事業を実施することとなった経緯は。とに対し、

日常的な地域の支え合い活動の体制づくりを、県の全額補助によりできる事業で、半田市では、認知症等にかかる地域資源マップの作成が、高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画にも載っており、また、認知症高齢者を取り巻く地域の支え合いが、今後も重点課題となっていくため、事業実施を決めたものです。とのこと。

放課後児童健全育成事業について、県からの補助基準額が増えたとのことだが、これにより父母負担は減るのか。とに対し、

例えば、増額が一番大きくなる例としては、開所日数にかかる加算では、年間7万5千円の増額に、また、障害児受け入れの加算では、年間4万8千円の増額となります。これは、利用者の保育料負担をすぐにでも下げられるような額ではないと考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第40号及び議案第43号の2議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、それぞれ採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、請願第2号については、提出者の意見陳述の後、慎重審査し、討論を省略し、挙手により採決した結果、願意妥当と認め、挙手全員により採択することに決定しました。

次に、請願第3号については、

精神障がい者の医療費助成を、他の2障がいと同様にしてほしいという請願事項に関して、精神障がい者手帳1、2級を有する方について他の2障がいと同様にすることには、賛同できる。との意見。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、願意妥当と認め、挙手全員により採択することに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。